

# 分析試験成績書

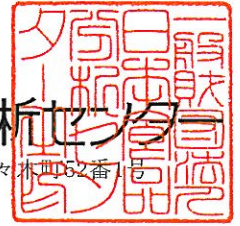
依頼者 株式会社 ノバテック

検体名 オーガニック  
グリーンレイボスティール  
(プレミアムショート)  
(抽出液)

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木四丁目52番1号



2013年(平成25年)04月26日 当センターに提出された上記検体について分析試験した結果は次のとおりです。

## 分析試験結果

分析試験項目	結果	定量下限	注	方法
水分	*1 99.9 g/100g	.....		常圧加熱乾燥法
たんぱく質	*1 0.1 g/100g未満	.....	1	ケルダール法
脂質	*1 0.1 g/100g未満	.....		ソックスレー抽出法
灰分	*1 0.1 g/100g未満	.....		直接灰化法
炭水化物	*1 0.1 g/100g	.....	2	.....
エネルギー	*1 0 kcal/100g	.....	3	.....
ナトリウム	*1 3.2 mg/100g	.....		原子吸光光度法
カルシウム	*1 1.4 mg/100g	.....		ICP発光分析法
マグネシウム	*1 0.6 mg/100g	.....		ICP発光分析法
スーパーオキシド消去活性	*1 30 単位/g	.....	4	電子スピン共鳴(ESR)法
無水カフェイン	*1 検出せず	0.001 g/100g		高速液体クロマトグラフィー法
比重(15℃)	*1 1.001	.....	5	浮ひょう法

\*1 検体3gに沸騰水(水道水:大阪府吹田市)500mlを注ぎ、室温で3分間放置し、ろ過した液について試験した。

注1. 計算式:(全窒素-カフェイン態窒素)×6.25

注2. 計算式:100-(水分+たんぱく質+脂質+灰分+カフェイン)

注3. 栄養表示基準(平成15年厚生労働省告示第176号)によるエネルギー換算係数:たんぱく質, 4; 脂質, 9; 炭水化物, 4

注4. J. M. McCord及びI. Fridovichが定義した単位 [J. Biol. Chem., 244, 6049(1969)]に相当する消去能として、依頼者の指定により、定量下限を10 単位/gに設定した。

注5. 依頼者の指定により、浮遊物を含めて試験した。

以上